

## 様式第2号(第11条関係)

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回えびの市総合教育会議
開催日時	令和8年2月20日(金) 午前9時から午前10時45分まで
開催場所	えびの市役所本庁3階 AB会議室
出席委員(者)氏名	市長 中山義彦 教育長 永山新一 教育委員 貴嶋俊介 教育委員 小倉真里子 教育委員 御手洗英次 教育委員 森高尚子
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	学校教育課課長 谷元靖彦 同課長補佐 後藤富美恵 同教育係長 杉元香織 同主幹 由浅公章 指導主事 山之口忍 えびの市防災食育センター所長 瀬戸崎章史子 社会教育課課長 西峯由美 同課長補佐 黒木稔 同課長補佐 下東嘉也 同国スポ準備室長 竹原雄太 総務課課長 黒木良二 同行政係長 大河平茜 同係員 古川凌太
会議次第 及び会議の 公開 又は 非公開の別	1 開会 2 市長あいさつ 3 意見交換 ・市の教育施策について ・その他 4 教育委員会からのお礼のあいさつ 5 閉会 (全部公開)
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	
傍聴者の数	0人
会議資料の名称	・会次第 ・えびの市教育大綱(令和7年2月) ・えびの市の学校教育 ・えびの市の現状
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録

<p style="text-align: center;">そ の 他</p>	
<p style="text-align: center;">審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）</p>	
<p>事務局</p>	<p>ただいまから、令和7年度第1回えびの市総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして市長よりご挨拶をいただきます。</p>
<p>市長</p>	<p>この会議の目的として、子どもたちが、えびのという場で子どもらしい育ち方ができる環境づくりを念頭に置いた意見交換をしたいと思っています。今後の市政運営における教育行政の方向性を一緒に考えていける機会だと思うのでよろしくをお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。 ここからの進行は、えびの市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により市長が議長とされております。進行をよろしくをお願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>意見交換に入ります。テーマとしては、市の教育施策についてです。先に私の教育施策に対する考え方を述べたいと思います。 えびの市の教育に関しては、様々な先進的取組みや独自の施策を推進していると感じています。しかし、私たちの想定を上回るスピードで地域や社会が変化し、多様化が求められています。社会が変化すると効果や効率の低下が懸念されるため、施策は時代に合ったものでなければなりません。えびの市の教育行政も常に進化し、成長し続けてほしいと願っています。 いくつか項目を立てて話します。 私が取り組みたい教育は、子どもたちにえびのの歴史を深く理解して地元への愛着をより強くすることで、伝統文化や慣習等を身に付ける学びを推進するものです。えびのの学をもとに引き続き、誇りを持ち、えびのを支えていく子どもたちを育てていきたいと考えています。 まず、現在推進している小中高一貫教育や少人数編成事業、いわゆる30人学級編成に関してはこれまでの成果を踏まえ、教育の質を落とさず人口減少、児童生徒数減少に対応した制度として推進できる工夫や検討を考えています。次に、学校給食事業についてです。施設の適切な維持管理を行い、安全でおいしい、えびのの豊かな地域食材を生かした給食の提供をしていただきたいと思います。なお、子育て支援策として学校給食費無償化は継続する考えです。 また、飯野高校支援についても今まで通りの支援継続が必要だと考えています。 次に、生涯学習、社会教育についてです。少子高齢化が進展する地域社会において、より市民や地域にあった学習や教育の在り方を見出していきたいです。次に文化振興についてです。伝統芸能を含め、えびのの財産となる行事の継続支援を行い衰退の懸念に対応したいと考えています。 次にスポーツ振興についてです。永山運動公園、体育施設、王子原野球場等の一層の活用、県内外の大会等の招致に力を入れ、小中高生にとってスポーツ</p>

	<p>参加への推進と団体行動の体験を増やす施策を検討したいと考えています。特に、令和9年開催の国スポで実施するボクシング競技については準備や運営体制等を整えたいと考えています。</p> <p>以上が私の教育施策に対する考えとなります。ご理解をいただくと共に皆様の意見や考えを、えびの市の教育振興に役立てていきたいと思ひます。</p>
市長	委員の皆様方から何かご意見等はありませんか。
委員	<p>人口減少に伴い、児童生徒数も非常に減少しています。その中で、学校規模適正化について教育委員会でも検討会を設置しており、話し合いを重ねているところです。市民があげてくる声を大事にして欲しいです。</p>
市長	<p>人口減少には歯止めがかからず、実際に小学校で入学者がいない現状があります。教育委員会を中心に再編成をしていきたいと検討していますが、一番の原点としては子どもの教育に支障がないことだと考えています。</p>
教育長	<p>学校規模適正化については、教育委員会と各学校のPTA役員を交えた意見交換を1年間通してやってきました。今後、教育委員会としては学校規模適正化調査検討委員会を審議会の位置に格上げし、有識者等の意見も取り入れながらの取組みを検討しています。また、本年度アンケート等を実施し、保護者や子どもが抱えている思い等の実態は把握しているため、それを踏まえながら今後の計画を作成していきたいと思ひています。</p>
市長	<p>教育の質の低下や衰退が懸念されるので、有識者の意見を尊重していくことも大事だと思ひます。</p>
委員	<p>学校適正規模の問題ですが、保護者や子どもに負担がないことが一番だと思ひます。いじめ問題の観点からは、現在のえびの市では学年1クラスが多いため、逃げ場のない子どもがこれからの問題点になるのではないかと思ひます。早い段階での、有識者を含めた検討をお願いしたいです。</p>
市長	<p>再編成を行う上で、様々な検討事項や課題が挙がると思ひます。内容を集約して抜け目のない協議をしていきたいです。</p>
教育長	<p>先進的な取組みとして、西都市と串間市に視察に行きました。西都市は再編成に向けて、串間市は実際に中学校の再編成が始まっています。スクールバスや部活動の課題等を挙げられましたが、特に各教科の先生が揃うかを重要視していました。小さな学校では5教科の先生も揃わず、臨時職員が対応している状況であり、技術や家庭科に関しても免許外の先生が指導しているのが現状です。</p>
市長	他に何かないでしょうか。
委員	<p>2011年の東日本大震災の直前に宮城県石巻市の第九公演を聞き、市民が一生懸命歌う姿に感動しました。何とかえびの市でも第九を開催したいとご理解と、支援のもと発足したのが、えびので第九を歌う会です。第13回公演を迎</p>

	<p>え県外からの参加者も年々増え、去年は北海道からの参加もありました。また、私たち自身も各地で歌う機会をいただき、第九を通じて全国の人と繋がる喜びを実感しています。第7回公演からは子どもたちも参加し、プロの音楽家と共演する貴重な体験の場となっています。えびの市では素晴らしいコンサートが数多く開催されているが客席に子どもの数が少ないことを課題と感じています。子どもの頃に本物の文化、芸術に触れる機会を与え、次世代に確実に引き継いでいく仕組み作りが必要だと思います。</p>
市長	<p>伝統文化、慣習が衰退することは、えびのらしさを失うことだと考えています。歴史や文化をどのように伝えるかが課題であり、巢立つ時にはえびので育ったことに誇りを持ってほしいと思います。</p>
委員	<p>無形民俗文化財に指定されている打植祭が今年も3月に開催されますが、子どもたちの参加が少なくなっています。声掛け等の工夫をしなければと実感しています。</p>
市長	<p>子どもたちの参加が少ないと私も感じています。自分自身が子どもたちと触れ合い、少しでも記憶に残るような話ができる機会を設けたいと考えています。</p>
教育長	<p>学校内では現在、中学校ではスクールコンサートを実施しており、村上三絃道に協力をいただいています。音楽や芸術等に触れる機会を増やすために、来年度は小学校へのスクールコンサートを実施する予定です。学校外に関しては、未来カフェやアイデアソングランプリに大人から子どもまでの幅広い年齢層が参加している状況が見られました。引き続き年齢を超えた活動に取り組んでいきたいです。</p>
市長	<p>学校行事として打植祭等の伝統文化・芸能に参加するのはどうでしょうか。</p>
教育長	<p>授業時数等を含めた検討が必要なので厳しいと思います。学校行事として参加する場合は、地域の方との協議も必要になってきます。</p>
委員	<p>真幸小学校では、えびの市内の郷土芸能や京町二日市について講話する授業があり、とても良いと感じました。</p>
教育長	<p>えびの学の一環で実施しています。打植祭、西長江浦の大太鼓踊り、京町二日市について話していただきました。各学校、工夫してえびの学に取り組んでいます。</p>
市長	<p>スポーツ振興にご意見はないでしょうか。</p>
教育長	<p>直近では、南九州駅伝大会がありました。えびの市出身の子どもたちが活躍する状況が多くみられます。教育委員会だけでなく市として評価できる場面はないのかと考えています。例として高原町では、懸垂幕で評価しているようです。</p>

市長	市民が知らないことには応援ができないので、市全体として広報活動には取り組んでいきたいと思います。
委員	えびの音頭の普及に携わっていますが、各学校で解釈が違うみたいです。
教育長	えびの音頭は市内の全学校で取り組んでいますか。
学校教育課課長補佐	運動会の時に全学校踊っています。
教育長	指導者が違うのですか。
学校教育課課長補佐	学校また学年でも違う方が指導されています。
学校教育課課長	実際の動きの由来など、原点を調べて子どもたちにお知らせしたいと思います。
委員	解説付きの動画を作成するのも良いかもしれません。
教育長	時間をかけないと歌詞の意味や音頭の歴史を学ぶことは難しいと思います。
学校教育課課長	過去の広報紙でも、えびの音頭が詳細に載っている記事がありました。再度、確認して発信していきたいです。
市長	子どもたちからの意見や要望はないのでしょうか。
委員	飯野中学校では、議会場を利用した模擬議会を実施しました。自分の政策を述べ、きちんと理由まで説明する姿が見られました。意見を持っている子どもたちもいるので、意見を取り上げられる取組みをもう少し作って欲しいです。
教育長	真幸中学校からは、市の政策に対する意見書が提出されています。
学校教育課課長補佐	規模適正アンケートでは、子どもたちが集まる場がないと意見をいただいています。
市長	どのような施設や場所を提供して欲しいか具体的な内容が知りたいです。
学校教育課課長	市長への手紙の制度では、通学路に防犯灯を設置して欲しいと要望が来ています。防犯灯は自治会単位で設置をしており、電気代等の負担もあります。複数の自治会に係る通学路の整備が進んでいないのが現状です。
委員	文化センターで第九を行う際、舞台での安全面が気になります。
社会教育課課長	九市がどのような安全対策をしているのか確認します。見栄えの問題はありますが難壇を低くする等、対応可能な対策から実施していきます。

委員	幼少期は環境的な要因が大きく影響するため、心の教育、ケアを大事にしてスクールカウンセラー等の取組みに力を入れてほしいです。また子どもだけでなく先生たちの心のケアも考えていくべきだと思います。
学校教育課課長補佐	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは継続していきます。
委員	不登校、引きこもりが問題視されています。学校教育を離れた場でのサポートも検討していただきたいです。
指導主事	<p>昨年度から福祉課を中心とした重層的支援会議に参加をしています。会議の中で、一度も登校できない生徒、家庭訪問をしても会えない生徒が卒業するにあたり今後どのような支援が必要かを議論しました。</p> <p>社会福祉協議会では、引きこもりの方向けのカフェを開いており、引きこもりの生徒でカフェに参加しているといった情報もいただいています。今後は、カフェを通じて進路に繋がる働きかけをしたいと考えています。</p> <p>また、県が配置しているスクールカウンセラーは昨年度から全校配置となり、市が配置しているスクールソーシャルワーカーと情報共有を適宜しています。</p> <p>対応が必要な子どもについては、こども課等の関係機関と積極的に連携をとっています。</p>
教育長	他にも、こども宅食の活用、家庭訪問をして直接図書の本を貸し出す等の取組みを実施しています。先生方にも1週間の中で必ず安否確認をしてくださいとお願いをしています。
委員	子育てをしていく中で経済的に大変な家庭が出てくると思います。制度や支援を知らない人たちのために、気軽に相談できる場を設けてほしいと思います。
委員	こども課に配置している家庭相談員には学校教育だけでなく、成長するにつれての相談も受けていると聞きました。
学校教育課課長補佐	様々な相談の場があります。女性相談員等、他部署との連携を図り対応できる場を紹介しています。
総務課課長	重層的支援体制整備事業の話がありましたが、複雑化した相談に対応するため、福祉課を窓口としたつなぎシートの作成体制をすでに整えています。
委員	知りたい情報が広く市民に届くよう周知をお願いします。
総務課課長	横の連携で繋いでいく体制は整っているため、制度や取組みの周知に市としても力を入れたいと思います。
市長	他に何かございませんか。
委員	先進的な教育施策を実施されているが、市長がこれから力を入れていきたい施

	策があればお聞きしたいです。
市長	全国にえびの会が発足されています。会に出席する機会があり、やはりえびののに対する愛着や強い思いを感じました。そのような愛着や思いが衰退してしまわないように子どもたちに対して、えびのから送り出すまでの教育が大切だと思います。県外に出たとしても、何かしらの接点や交流で繋がりをもって欲しいと考えています。教育施策については、現行の施策を精一杯推進していきます。
市長	その他の部分に入ります。ご意見はありませんか。
学校教育課主幹	学校における働き方改革について話します。先生方を取り巻く環境の改善に向けて、業務量管理・健康確保措置実施計画を策定します。教育委員会だけでなく、自治体や地域とも連携して働き方改革を推進していくこととなります。また、来年度の総合教育会議では、策定した計画に対して実施状況を報告することになっています。
市長	自治体全体として取り組んでいきましょう。
教育長	既に取り組んでいる30人学級は、1人の先生の業務負担を考えると、先生方の観点からしても働き方改革の一環になっています。業務量管理・健康確保措置実施計画の策定を早急に行い、令和8年4月1日以降に各学校で実施する予定です。
市長	国スポ関係の話をお願いします。
社会教育課国スポ準備室長	宮崎では48年ぶりとなる国スポが、令和9年に開催されます。えびの市は、正式競技にボクシング、デモンストレーションスポーツでウォーキングを実施する予定です。特にボクシング競技は来場者を1万人以上と見込んでいます。令和8年度にはリハーサルとして、全日本社会人ボクシング、全日本女子ジュニアボクシングの全国大会開催を予定しています。準備や運営等に人員が必要なため、庁内では実施組織の立ち上げを予定しています。ボランティア等を含め、市全体として宮崎国スポに協力していただけるよう実行委員会も進めていきます。
市長	他に何かございませんか。
全委員	なし
市長	それでは意見交換を終了いたします。事務局へ進行を返します。
事務局	ありがとうございました。それでは、教育委員を代表して貴嶋教育長職務代理がお礼を申し上げます。
貴嶋委員	市長におかれましては業務多忙の中、総合教育会議を開催いただきありがとうございました。児童生徒数の減少が著しい中で、故郷を思う気持ち、質の高い

事務局	<p>教育など教育施策に対する市長の考えが、教育委員会としても非常に重要だと感じました。本日は誠にありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和7年度えびの市総合教育会議を閉会します。</p>
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------